

# 球磨事務所 の巻

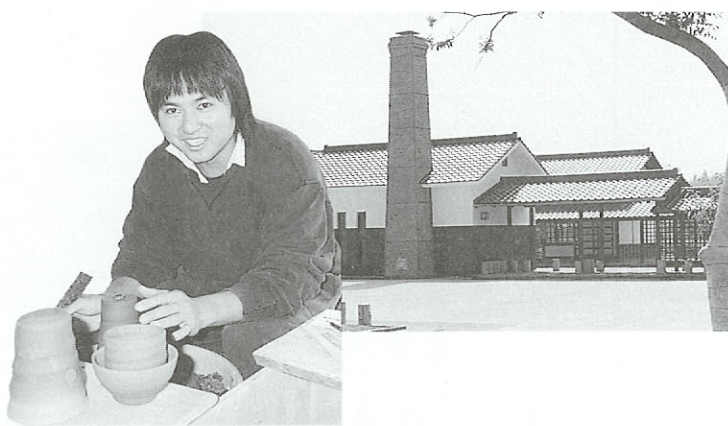


山々はあくまでも緑く、そして、清冽な水しぶきを  
あけて流れる急流球磨川。その二は、「落ちゆく  
先は九州相良」と浄瑠璃にもうたわれた、相良七百  
年の歴史と文化をもつ人吉・球磨。十二月には高速  
道も開通し、今、みな、やる気満々。さあ、近く  
なった人吉・球磨へぜひどうぞ！

(球磨事務所 広報担当 平井博英)

田原坂の戦いに敗れた西郷隆盛は、永国寺を本陣として33日間人吉に滞在し、その間球磨焼酎を飲み、温泉に入り、東の間の散歩を楽しんだといわれます。そこで、来年のNHK大河ドラマ「翔ぶが如く」放映を機に、西郷さんの足跡をしのぶ散歩道を再現しました。一度歩いてみませんか。

●「西郷どんの散歩道」を企画したメンバー。左から、陣地跡「石亭の館」川越公弘さん/焼酎蔵「福田酒造」福田忠彦さん/本陣跡「永国寺」紫安達純さん/武家屋敷「旧新宮家屋敷」堤悟さん/焼酎蔵「峰の露酒造」緒方昭八さん



十月七日に開園したばかりの人吉クラフトパーク石野公園。その一角にある陶芸館で、「土」に「かたち」と「いのち」をふき込もうと、ろくろを回し続けています。クラフトパークには、体験コーナーや陶芸教室もあります。是非、お越しください。

●高場英二さん(30才/陶芸家 古仏頂焼高場英二)

「栗しんぼ村・グループロマン」が球磨村の特産品であるクリを材料にしたお菓子、「ブランデーマロン」を開発。只今、好評発売中。器は、全国でも珍しい木目を縦に使った曲げものを使用。加工は禅院の庫裏で製造しています。



●「栗しんぼ村・グループロマン」のメンバー6人。左から、クリ加工 近藤靖子さん/呉服店経営 鶴田健二さん/一勝地曲げ工芸家 淋正司さん/グラフィックデザイナー 田代蔵さん/意地院住職 近藤賢成さん(代表)/農業クリ生産 吐合美智郎さん

# WATCHING GENKIZUKAN

ウォッチング

元気図鑑

これからはカルチャー時代と言われるように、経済の発展と共に心の潤いを求める時代になっています。今年も11月15日から26日までの間、八代本町商店街アーケードの720mをまるごと美術館にし「タウンギャラリー」を開きました。さらに魅力ある商店街を目指して頑張ります。

●桜井憲吾さん(57才/八代市・八代本町中央街連合会長)



この10月、鏡町の地域活性化グループ「こことうみの会」は、役場のロビーを借りて、中瀬慶二郎さんの絵の個展を開きました。中瀬さんは、農業のかたわら絵を描き色々な美術展で入賞している方です。「私たちグループは、これからも鏡町の文化を掘り起こし、町の活性化につないでいきたいと思っています。」



●葉山高弘さん(左)(49才/鏡町・こことうみの会会長)と中瀬慶二郎さん(右)



会員は、16人。小学校の時から稽古をしてきた若者たちが中心です。1年の大きな行事である10月の秋の大祭のほか、観光振興の面からも村のイベントにも協力しお手伝いしています。

●村川千代次さん(49才/泉村・榎木神楽保存会会長)



頭(かしら)になって15年。「私が習い初めのころは、師匠は肝心なところだけを教え、あとは太鼓の音を聞き、踊る姿を見て覚えていました。自分のものにしようとする気持ちが大切な今は今も変わりません。」

●仲川時弘さん(64才/泉村・久連子の古代踊り保存会会長)

# 八代事務所 の巻

見渡す限りの田園地帯。さらに秘境という響きが心地よい山間地。様々な顔を持つ「やつしろ」。この八代で元気に輝きを放つたくさんの主役たち。今回登場するのは新しい文化のクリエイター、そして伝統の文化を支える人々。静かな中にたくましい鼓動が聞こえてきませんか。

(八代事務所 広報担当 新谷良徳)



●八代市は「花と彫刻のあるまちづくり」を進めています。